

【お願い】高校生が地域の未来を守る「土肥バディ・プロジェクト」始動！

伊豆総合高等学校土肥分校では、「静岡県教育応援基金」を活用し、地域社会の安全と持続可能性に貢献するための新たなプロジェクトを立ち上げました。

1 プロジェクトの背景

私たちの学校がある伊豆市土肥地区は、高齢化率が 50%を超え、将来的な津波のリスクも抱えています。このような課題に対し、小規模分校である当校の生徒一人ひとりが高齢者の「バディ(相棒)」となり、地域の安全を支える「社会インフラ」として機能することを目指しています。

2 「土肥バディ・プロジェクト」の主な活動内容

本事業では、以下の 3 つの柱を中心に活動を展開し、過疎・高齢化地域における「土肥モデル」の確立を図ります。

- 「顔の見える関係」による個別避難支援：生徒がオリジナル・ビブスを着用して高齢者宅を定期訪問します。行政の支援が届きにくい家具固定の確認や、避難経路の共同点検、個別避難計画の策定を直接サポートします。
- 学術的知見の導入と分析：県内の大学教授やゼミ生と連携し、活動を通じた生徒の「自己有用感」や住民の「安心感」の変化を科学的に分析・数値化します。
- 成果の社会実装と発信：分析結果に基づいた「土肥地区防災提言」を市役所へ提出するほか、地域向け報告会の開催や県内外での成果発表を行い、地域の防災力向上に寄与します。

3 寄附金の使途と目標額

皆様からいただいた寄附金は、以下の活動に活用させていただきます。

- 目標金額：540,000 円

- ・ 内訳：
 - 防災アクション実証資材費(オリジナルグッズ作成等):150,000 円
 - 大学等専門家連携・調査研究費(謝金、フィールドワーク旅費等):150,000 円
 - 成果報告・広報費(報告書・動画作成、報告会運営費等):200,000 円
 - 事務管理費(決済手数料等):約 40,000 円

4 寄附の方法について

本プロジェクトは「静岡県教育応援基金(所属指定)」の対象事業として承認されています。

- ・ 個人の皆様:「ふるさと納税」として寄附いただけます。「ふるさとチョイス」等の専用ページから、本校を指定して寄附をお願いいたします。
- ・ 企業の皆様:「企業版ふるさと納税」としてのお手続きが可能です。

5 お問い合わせ先

担当: 静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校 副校長

電話: 0558-98-0211 事業実施期間: 令和8年4月～令和10年3月

高校生が地域の「バディ」に！安心を届ける「土肥バディ・プロジェクト」

地域の未来を守るストーリー（活動のプロセス）

ステップ1: お年寄りの「バディ」として訪問

オリジナルピブスを着た生徒が自宅を訪ね、家具固定や避難経路と一緒に確認します。

ステップ2: 大学と連携した「科学的」な分析

大学教授と協力し、生徒の成長や住民の安心感を数値化して活動を磨き上げます。

ステップ3: 「土肥モデル」を社会へ発信

地域の防災力を高める提言を市役所へ提出し、報告会を通じて全国へ広めます。

全国へ広まる！

皆さまの応援で実現すること

目標金額 540,000円

令和8年度から2年間にわたり、地域の安全を支える活動資金として活用します。

活動を支える4つの柱

防災グッズ作成

専門家との調査

成果報告・広報

地域報告会運営

応援の使い道

防災アクション実証資材費: 150,000円
(オリジナルグッズ作成費用など)

大学等専門家連携・調査費: 150,000円
(大学教授への謝金、学生の調査旅費)

成果報告・広報費: 200,000円
(動画・報告書作成、地域報告会運営)